滝沢村の水道水

滝沢村の水道水がおいしい理由

村の水道は約8割を岩手山麓の恵みである地下水でまかなっていますが、災害や事故などに備えて残り約2割は河川水を利用しています。なお、河川水は水質の安定した時のみ取水し、降雨などで河川水質が悪化した場合は取水せず、安定した水質の水を供給しています。

そんな滝沢村の水道水はおいしいのか？おいしさの定義は、個人差などがあり大変むずかしいものですが、旧厚生省の「おいしい水研究会」のガイドラインを参考にすると、滝沢村の水道水はその要件をほぼ満たしています。

また、同研究会では、人口10万以上の都市の中で「水道水のおいしい都市」を32ヵ所選定していますが、「主要な水源」として地下水を利用している都市は、20ヵ所選定されており、地下水のおいしさ、安全性が伺われるものになっています。

地下水の水質は大丈夫？

村の地下水は、岩手山麓に降った雨や雪が、長い時間をかけて火山堆積物の中を透ってできた自然のろ過水です。

また、安全性の面からも水をほとんど透さない難透水層という地層にサンドイッチのようにはさまれた水の層であり、外から汚染されにくいものとなっています。

これにより、そのままでも飲めるほど水質が大変良いため、水道法で義務づけられている最低限の塩素消毒のみで供給できるのです。

いつまでも安全でおいしい水を利用できるよう、たいせつな水を蓄えてくれる岩手山や山麓の森林に感謝し、これからもみんなで力を合わせてこの自然を守っていきたいものです。

なお、村では昨年滝沢村水道水源保全条例を制定し、水源の保全に取り組んでいます。

いつも安心してお使いいただけます

皆さんがいつも安心して飲むことができるよう、水道水の原水については定期的に水質検査を行っているほか、各配水系統において11人の方に委嘱し、水道水の色・濁り・消毒の効果に異常がないか毎日確認していただいています。

水質検査計画や検査結果については村ホームページでご覧いただけます。

“滝沢村の水道水のおいしいわけ”

・岩手山麓の恵みである良質な地下水が主な水源だからです。
・おいしい水の要件をほとんど満たしています。

適度なミネラルを含み、
ほどよいコクと冷たさが特徴です。

●おいしい水の要件

（旧厚生省「おいしい水研究会」1985.4）

項　目	指　標	村の水道	内　　容
蒸発残留物	30～200mg/l	118mg/l	Ca,Mg,Na,Feなどのミネラル含有量 →コクを感じますが、多いと渋みが増します。
硬度（Ca,Mg）	10～100mg/l	45mg/l	Ca,Mg含有量→低すぎると蒸留水のように無味で、 高いと硬く重い感じがします。
遊離炭酸	3～30mg/l	1.4mg/l	水にさわやかな味を与える溶存炭酸ガス →多いと刺激が強くなります。
過マンガン酸カリウム消費量	3mg/l 以下	0.5mg/l	有機物の量 →多くなると渋みを感じます。
臭気強度（TON）	3 以下	1	臭いを感じなくなるまでの希釈倍数 →ダム水のカビ臭などが水をまずくします。
残留塩素	0.4mg/l 以下	0.3mg/l	殺菌するために水道水等に含まれ、カルキ臭を持つため 濃度が高いとまずく感じます。
水温	20℃ 以下	14.0℃	10℃～15℃の水が最もおいしく感じます。 村の地下水は一年を通じて11℃前後です。

※Caはカルシウム、Mgはマグネシウム、Naはナトリウム、Feは鉄
※村の水道の数値は、昨年7月（平成22年度）に行った大釜字大清水地内の水質検査結果です。